


メディカル英語 No.1

医学論文を3分で読む

—— Abstract構造を知れば専門英語が読める

 **今日のゴール：** 医学論文のAbstractを「構造」として読む技術を身につける。Background・Methods・Results・Conclusionの4セクションが何を伝えているかを3分以内に把握し、口頭試問・小論文で「論文を根拠として引用」できるようになる。

 この授業の問い


1. 医学論文のAbstractには何が書いてあるのか？4つのセクションを言えるか？
2. 「significant」「compared with」「associated with」は何を意味しているのか？
3. 3分でAbstractを読んで「この論文が何を示したか」を一文で言えるか？

※ 授業後にもう一度この問いを見て、答えを書いてみよう。

 現状確認 —— 医学英語への苦手意識の正体

多くの受験生が「医学英語は難しい」と感じる理由：

- 知らない専門用語が多い → 実は「語根」を知れば推測できる（No.2のテーマ）
- 文が長くて構造が見えない → 実は**定型パターン**に従っている
- 何を問われているかわからない → 実は**Abstractの4構造**を知れば即解決

 **この授業のアプローチ：** 「単語を覚える」前に「構造を知る」。Abstractの4セクションを把握するだけで、知らない単語が半分あっても論文の主張が読める。

採点者の視点

採点者はここを見ている —— 医学論文・Abstract構造の問題で合格答案はこういう「構造」をしている

① なぜ同じ答えでも評価が違うのか

清光学院の講師陣は、これまでに皆さんと同じ志を持った先輩受験生たちの答案を何千枚も採点し、合格・不合格の判定を下してきました。その経験から言えることが一つあります。

「正しい答えを出していても、なぜそう考えたのかが見えない答案は、採点者の印象に残らない。」

医学論文・Abstract構造の問題では、*Abstract*各セクションの役割の根拠の理解が答案の質を大きく左右します。

② 医学論文・Abstract構造で採点者が見ているポイント

「Background→Methods→Results→Conclusionの流れを追うと論文の主張が3分で把握できる」と構造を示した答案が採点者評価を上げる

 この授業の使い方

各問題のワンポイントには「採点者がどこを評価するか」の視点が含まれています。答えを出すだけでなく、根拠を一文添える習慣を意識しながら取り組んでください。

③ 総合型選抜・口頭試問でも同じ構造が問われる

採点者（大学教員）が口頭試問で確認したいのは「答えが出るか」ではなく「思考の構造を説明できるか」です。この授業で習得する「上から俯瞰する」視点は、あらゆる試験形式に通用します。

続きは講義でご覧いただけます

この教材には、採点者の視点・核心的な解法・入試問題・演習・まとめがさらに収録されています。

大学教授陣が設計した「普通の授業では出会えない接続点」を体験できる完全版は講義でご提供いたします。

清光学院 AP SEIKO 理系講座 © 清光教育総合研究所